



11/7
(月) 夢はかなえられるもの

6大陸最高峰登頂や酸素ボンベ無しで登頂することで知られる登山家の栗城史多さんの講演会が、浦添市でこホール大ホールで開催されました。

講演会では、過去に挫折を経験しながらも、登山を通して自分の進むべき道を発見した自身の体験談や、登頂の様子を写真や動画を交えながら紹介し、「目標を掲げて挑戦し続けることが大切」「周りの人たちへ自分の夢を言葉で出し続けることで本当に夢はかなう」などの熱いメッセージを送りました。

会場は、親子連れなどの多くの来場者が詰めかけ、栗城さんの前向きでスケールの大きな話に聞き入っていました。



11/14
(月) 税に関する書道、
標語、作文表彰式

毎年11月に全国一斉に実施されている「税を考える週間」に合わせ、市内小中学生・高校生を対象とした税に関する書道、標語、作文の表彰式が市役所で行われました。

これは、次代を担う児童・生徒に対し、租税教育の一層の推進を図るために行われたもので、各学校から応募のあった4千点を超える作品の中から、特に優秀であると認められた47作品が表彰されました。

主催した浦添市租税教育推進協議会の津波清代表幹事は、「児童・生徒の皆さんが、税の意義や役割を正しく理解し、健全な社会人となり、より良い未来を築いて欲しい」と挨拶しました。



11/3
(文化の日) うらそえの歴史を学ぶ

「歴史ロマン街道～尚寧王の道をたどる～」が秋晴れの中、今年も開催されました。

これは、17世紀初め頃の琉球国王であった尚寧王により改修されたかつての街道をたどり、周辺の文化財について「うらおそいガイド」の説明を受けながら理解を深めようといわれているもので、245人の参加者は、浦添グスクから首里城までの全長約5キロのコースを地元の歴史を学びながら楽しくウォーキングしました。

参加者は「浦添の名所は整備されていると感じた。今回巡った所をまた個人的に訪れたい。いい経験になりました」と、話しました。



11/9
(水) 輝くてだこ市民賞
第6号表彰

10月に山口県で行われた第66回国民体育大会ハンドボール競技少年男子で優勝した沖縄選抜チームのメンバー12人のうち、本市と関係が深い市民9人(すべて興南高校の生徒)を表彰しました。

<受賞者>
東江 雄斗さん(神森中出身)、伊佐 宏也さん(仲西中出身)、浦崎 僚大さん(仲西中出身)、下地 賢志さん(浦添中出身)、津波古 駿介さん(仲西中出身)、仲田 圭吾さん(浦西中出身)、嘉陽 俊太さん(神森中出身)、具志堅 陽向さん(浦西中出身)、比嘉 成希さん(浦西中出身)



10/10
(体育の日) 気軽に楽しくスポーツしよう!

本市の体育の日の恒例行事である「いきいきスポーツ・レクリエーションまつり」が浦添運動公園内各施設で行われました。各施設が無料開放され、会場ではバドミントン、グラウンドゴルフなどの馴染みのスポーツのほか、ユニカールなどのニュースポーツ体験、屋内運動場では体力測定が行われ、にぎわいを見せました。参加者は「様々なスポーツが体験ができ、どれも楽しかった。毎年開催を楽しみにしている」と話しました。

また今年は、日本ハンドボールリーグチーム「琉球コラソン」の選手たちによる小中学生を対象としたハンドボールクリニックが開催されました。



11/5
(土) 琉球漆器の理解を深める

最新の漆分析成果の報告や、文化財と科学技術について紹介し、関心を持ってもらおうと、漆芸専門美術館である浦添市美術館と明治大学の共同主催による「琉球の漆文化と科学2011」が開催されました。

琉球漆器の歴史や素材の科学的分析、産地や年代測定などの講演が行われ、日本の漆器が古くからヨーロッパなどに広まっていたことや、浦添市美術館にある琉球漆器を分析し、使用されている漆が日本や中国、東南アジア地域などのものであることが判明したことから琉球王国が広範囲な貿易により漆を輸入していたのではないかといった説明などがされました。



10/23
(日) 牧港川を大掃除!

市民らと協働して清掃活動することで牧港川の現状を知り、また親しまれる川にするために「第10回牧港川クリーンアップ作戦」が行われました。昨年は雨天中止のため、2年ぶりとなる同活動へは、約300人の多くの参加があり、川沿いの除草作業やごみ拾いに汗を流しました。

参加者は「多くのごみが捨てられていて、とてもびっくりしました。少しでも牧港川がきれいになってくれればと思います」と、感想を述べました。

約2時間の作業で、川沿いに捨てられていたペットボトル、空き缶、自転車など多くのごみが回収されました。